

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会事務所は日限山4・44・23（八四四一七四七七）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山4・7・1

NPO総ぐるみ福祉の会 第七回 通常総会開催

去る5月23日(日)、朝から激しい雨が降る悪天候でしたが、総会が始まる頃にはあがり、会員63名中60名(委任状含む)の出席を得て第七回通常総会が松永高明氏の司会、岡野美樹氏の議長によって開催されました。

まず、昨年度の事業報告と会計報告、監査報告がなされ、続いて本年度の事業計画と収支予算案が示されて審議後、いずれも満場一致で可決・承認されました。

●日限山荘における交流活動の充実

「すべての人々が健やかに暮らせる地域社会づくり」は当会の目標です。

日限山荘では、火曜と金曜の週二回、手づくりのおいしい昼食を提供すると共に、健康体操、編み物、三ヶ月に一度の茶話会などが行われています。若いから「総ぐるみ福祉の会」に入るのはまだ早いというのではなく、日限山荘の行事に参加したり、ボランティア活動をしたりして、心をいきいきさせることこそ、要介護状態にはならない、元気の源となるでしょう。

●居宅介護サービスや移送サービス

介護事業所として訪問介護の技術を磨き、きめ細かい行き届いたサービスをはかり、また、移送、通院の乗降介助など、会員や地域

の方々の生活支援でお役に立ちます。

●福祉に関する情報提供

特別養護老人ホーム、ケアプラザなどの施設見学会を行い、介護に役立つ情報等を「総ぐるみ新聞」やホームページ等で、会員や地域に知らせていきます。

●役員の改選

理事長：宮崎浩子 副理事長：一柳 朗
理事：大橋達、松尾幸子、浮田泰治
藤井香代、掛川史子
監事：中 康行、贄田勇二
顧問：庄司俊二、

●合唱とカラオケを楽しみました

総会は、当会創立時メンバーであり、顧問の庄司俊二氏挨拶、一柳副理事長の閉会挨拶で終了。その後、いぶき会のコーラス部とカラオケ部メンバーをお招きして、楽しいひと時を過ごしました。

.....

◎昨年度、当会に寄付金をいただいた方は次の通りです。ありがとうございました。

【19年4月】浮田泰治様

【5月】小野悌子様、真木伊八郎様、小野みち子様、椿 満男様、

高田節子様、渡辺佐智子様

【6月】浮田泰治様、

【7月】小林よし江様、碓井助吉様、

安野たづの様

【8月】赤羽多規子様

【9月】桑田ミツエ様、碓井助吉様、

岡野美樹様

【10月】菊地幸子様、長谷川致正様、

酒井 幸様、上山 進様、小泉宗信様、

いぶき会、木村 清様

【11月】小林一彦様、小林よし子様、

杉崎さく子様、

【12月】碓井助吉様、安野たづの様

【20年1月】安野たづの様、小泉宗信様

【2月】新村哲夫様

【3月】木村 清様

【4月】大橋 達様、大橋綾子様、

佐藤千春様、碓井助吉様、

【5月】椿 満男様、岡野美樹様、碓井助吉様

リサイクル品・手芸品 大募集

今年も、NPO総ぐるみ福祉の会は夏の納涼大会に模擬店を出します。

不用新品、その他を「出品くださる方は、7月18日までの火・金曜日に「日限山荘」までお持ちください。皆様の「協力」をお願いいたします。

「ユニット型」介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

サンバレー 見学記

先般五月八日に見学した「サンバレー」は、スポーツ公園前バス停と市営地下鉄下永谷駅を結ぶ中間地点にあり、双方から徒歩数分の眺めのよい小高い丘の上にあり、特別養護老人ホーム（以下特養）の芙蓉苑と同じ社会福祉法人同慶会経営の、ユニット型介護老人福祉施設です。

○ユニット型介護老人福祉施設とは

従来からある特養の居室は二〜四人部屋がほとんどですが、個人のプライバシーを損なわないために、居室はすべて個室として、その居室十室をワンユニットとして、家族のように食事をしたり、団欒をしたりする共同リビングルームを備えた特養の新しい形式で、現在、横浜市内に二十四ヵ所あります。

サンバレーは、平成十七年十二月に新設され、定員百名（個室百室、十ユニット）で、定員三十名の短期入所生活介護施設（ショートステイ）を併設しています。

○施設長の介護方針

「お互いさま」という、一見平凡に思える言葉を掲げて、入居者とその家族、職員が、フイフティ・フイフティの立場で、誠意と愛情を持って接し、「ここに住んでよかった」「ここがわが家だ」と思える、環境作りや日常生活作りをすることを目指しているというお話でした。

また、胃瘻、人工肛門などの方も受け入れ、

インシュリン注射などにも対応しています。

○介護態勢

非常勤の内科医師一名（同系列の長田病院から月四回来診）、看護師・介護職員は法定基準を上回る人員を配置して、行き届いた介護を提供しています。理学療法士などは、必要に応じて長田病院から来所し、リハビリテーションを行っています。

○提携病院

前記の長田病院が提携病院ですが、歯科は港南台歯科です。また、入居者の従来からのかかりつけ医院の利用も自由です。

○ターミナルケア

入居者本人や家族の要望により対応しています。開所後まだ日が浅いものの、最期の看取りをした例があるそうです。

○食事

管理栄養士が栄養面に配慮した献立を作るほか、入居者の好みや嗜好で、動物性たんぱく質の種類（牛、豚、鶏、または魚）、パン、ご飯などの選択ができます。

食事は、リビングルームでユニットメンバーと一緒に摂りますが、朝食だけは自室で食べるという方もいて、自由です。

○入浴

週二回。大浴槽のほか、自立入浴できない方は、特殊浴槽等で職員の全介助で、心身ともにゆったりと安らげるようにしています。

○居室

居室には、使い慣れた馴染みの家具などの持ち込みを勧めているそうです。洗面台は各室にあります。室内トイレは、ある部屋とない部屋の二通りがあります。

○家族との面会

別室を使って、水入らずで一緒に食事をすることも可能です。

○入居費用

介護保険自己負担分一割と健康保険による医療費は自己負担。

入居一時金は不要ですが、居住費・食費は、それぞれ要介護度一〜五のランクと、本人所帯の四段階の課税所得ランクに応じて決められています（平均十五万円くらい）。

○感想

進んだ介護指向の新築施設なので、多額の入居金を必要とする有料ホームに比べても、ハード面では見劣りしないという印象を持ちました。

ホーム内は清潔で、施設にありがちな臭いはなく、各フロアは「コンセプトカラー」という、パステルカラーの色調で統一され、たいへん落ち着いた雰囲気でした。

また、職員の皆さんは、忙しい作業中でも例外なく笑顔で挨拶をしてくれ、入居者に対しての態度も、さだめしと思えました。

ただ、有料ホームと異なり、入居希望があっても、待機者が多くてなかなか順番が回って来ないというのが現状のようです。

（文責 浮田泰治）